

UR住宅居住者の居住の安定を求める意見書 全会一致で議決 総理大臣などに送付

UR賃貸住宅の再編方針 見直しなど要望

第二回定例区議会（六月）に、UR賃貸住宅（旧公団住宅）居住者の居住安定を求める意見書等採択を求める請願が団地自治会から提出され、第三回定例区議会、十月八日の本会議で「意見書」が全会一致で議決され、総理大臣、国土交通大臣宛に送付されました。

**委員長（党議員）の提案
で請願採択**
のは当然で、国はそれを保証しなければならぬ、公団住宅のみなさんは「地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たしている」と、請願に賛成し、採択を主張しました。

六月の議会では「継続」になっていた「請願」。九月の建設委員会でも委員長（共産党議員）が、「今議会で採択できるようお願いしていたが、検討状況はいかにか」と各会派の意見を聞くなか、いろいろな意見がありました。したが、論議の結果、全会一致で採択されました。

**第2回定例会で共産党は
採択を主張
自民など三会派が継続**
しかし、自民党は「国の今後の見通しが不透明な中、もう少し勉強が必要」、フォーラム民主は「マニフェストを見直している、その辺も研究したい」、みらいは、請願内容に「URそのものの民営化、改革の見直しの項目がある、私は譲れない」などと三会派が「継続」を主張、採決の結果、賛成多数で継続になっていました。

六月一七日の委員会では、請願代表者から「定期借家制度、事業仕分けとか問題」がでてきているが、「安心して住めるように願っている」旨の補足説明を受け審議しました。

党委員は、「住宅は生活を営む上で不可欠で、（憲法第25条の）生存権と不可分」、「安心して住み続けられるよう願う



いのくま正一 区議

裏面に意見書の写しを掲載

無料なんでも相談会 毎月 第3木曜日 18時30分～ 事前にご予約ください

こんにちは

日本共産党

いのくま正一です

区政報告

No. 9 3

2010年11月1日

〒105-8511

日本共産党港区議員団
港区芝公園1-5-25
電話 3578-2945
FAX 3578-2947
http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/
mailto:inokuma@jcp-minatokugidan.gr.jp